

「介護の日」キャンペーンの アンケート結果（応募時点）

本会では、昨年「11月11日は介護の日」を契機に、恒例の「いい日、いい日、介護の日 UDF プレゼントキャンペーン」を実施いたしました。キャンペーンは本会公式 LINE を使って実施いたしました。応募者の皆様には UDF に関するアンケートへお答えいただきましたので、この結果をご紹介します。

今回の「介護の日キャンペーン」応募者数は3,810名でした。7月の「UDFの日」は2,335名でしたので、163%増となりました。これは「UDFの日」にはなかった景品として「えらべる Pay」（電子ギフト券）を追加したことに起因します。ただ、前回（昨年）の介護の日では5,444名の応募がありましたので、これとの比較では残念ながら減少です。この理由については、本件の告知の際、Web上で「介護」に関係する検索を行っていた層に範囲を絞った広告としたことなどが考えられます。

では、アンケート結果を見てみます。まず、応募者の年齢層をみると、30代30%（前回27%）、40代27%（同28%）、50代22%（同20%）、20代8%（同10%）、60代9%（同9%）、70代以上3%（同3%）、10代1%（同2%）の順でした。30～40代が中心となりましたが、前は40代が最多でした。また、これは7月の「UDFの日」キャンペーンとほぼ同様の傾向でもありました。

次に、UDFの認知度についてですが、「知っている」32%、「名前だけ知っている」38%（「知っている」計70%）、「知らない」30%でした。およそ70%がUDFを認知していましたが、前は44%でした。これはおそらく、上記広告配信手法や賞品により「介護」のキーワードが身近にある方々の応募が多くなった結果と考えられます。7月の「UDFの日」では「知っている」35%、「名前だけ知っている」38%、「知らない」27%であり、同様の傾向でした。

次に、「UDFの利用経験」については、26%が「あり」との回答でした（前回21%）。年代別にみると10代32%、30代が28%、70代以上27%、40代26%、50代24%、20代21%、60代21%でした。これらの方々が



どなたのためにUDFを利用したかについては、両親39%、祖父母33%の結果でした。

UDF利用経験者の主な購入場所については、ドラッグストア47%、ネットショップ16%、スーパー13%の順でした。ドラッグストアはUDFの配荷率が高く、身近な買場となっていることがわかります。また、ネットショップがスーパーを上回る結果となりましたが、近年ではこの傾向が強くなっているようです。

最後に本キャンペーンの認知機会についてみると、公式LINE（友だち）50%（前回43%）、SNS広告（Instagram）11%（同23%）、LINE広告11%、懸賞サイト9%（同9%）、知人からの紹介8%（同11%）、その他Web広告3%、本会ホームページ2%（同3%）の結果でした。公式LINEの友だち数も86,000人を超えております（1月現在）、これらの皆様に積極的にご利用いただいている様子です。

本会では、引き続き今後もUDFの認知率向上に努めてまいりたい所存です。

【会議、催事等の予定】

2月3日（火）第4回業務用WG

2月6日（金）令和7年度事業進捗状況報告会・特別講演会

2月13日（金）～14日（土）第41回日本栄養治療学会学術集会（JSPEN2026）

2月25日（水）～27日（金）メディケアフーズ展2026

【UDF商品登録状況（2,324品目・12月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	18	7	1	59	5	90
冷凍食品	341	280	787	55	0	0	1,463
常温食品	256	50	286	178	1	0	771
合計	597	348	1,080	234	60	5	2,324

【会員の異動（12月）】

計97社（12月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>